

【論文発表】

伊藤 章、池田大忠、福田直人、大久保隆男：呼吸器感染症に対する RU 28965 の臨床的検討。日本化学療法学会雑誌、36(S-4)：334-341, 1988

杉山 貢、土屋周二、国崎主税、衛藤俊二、片村 宏、伊東重義、米沢 健、渡辺桂一、笠岡千孝、山岸俊彦、徐張嘉源、州崎兵一、福田直人、小林 衛、池田義雄、山中 研、竹村浩、関 文雄、森田修平、簾田康一郎、米元敏雄、諸橋正仁、石黒直樹、堀 嘉一郎、神谷周明、山本俊郎、門口幸彦、山川達郎、金子 等：胃潰瘍に対する Nizatidine (ZL-101) の臨床的検討。薬理と治療、17(2)：275-283, 1989

福田直人、深澤信吾、大滝修司、鈴木 卓、本田 拓、小林俊介、輦止勝麿、山川達郎：術後良性胆管狭窄に対する経皮経肝的エンドプロステシスの経験。消化器内視鏡の進歩、36：164-167, 1990

山川達郎、福田直人：良性胆管狭窄に対する内視鏡治療。消化器内視鏡、2(8)：1045-1049, 1990

本田 拓、山川達郎、小林俊介、大滝修司、鈴木 卓、福間英祐、平井 淳、飯泉成司、斎藤美津雄、草間泰夫、福田直人、永井哲志、古澤 徹、石川泰郎、酒井 滋、天野 仁、宇野剛一：悪性胆道閉塞に対する経皮経肝的エンドプロステシスと局所温熱療法。帝京医学雑誌、13(6)：499-506, 1990

福田直人、石山純司、天野 仁、石川泰郎、山川達郎：巨大肝海綿状血管腫の3手術例。日本臨床外科医学会雑誌、52(7)：1587-1591, 1991

福田直人、石山純司、天野 仁、望月康久、本田 拓、石川泰郎、小林俊介、山川達郎：腹腔内出血を契機に発見された Meckel 憩室原発平滑筋肉腫の1例。日本消化器外科学会雑誌、24(11)：2787-2790, 1991

本田 拓、山川達郎、小林俊介、大滝修司、福田直人：外科領域感染症に対する Cefpirome の有用性。CHEMOTHERAPY、39(S-1)：598-603, 1991

Horie H, Fukuda N, Bando Y: Hepatocytes enhance neurite regeneration and survival from transected nerve terminals. Neuro Report, 2: 521-524, 1991

Yamakawa T, Suzuki T, Kobayashi S, Honda H, Ohtaki S, Fukuda N, Amano H, Uno K :Fistuloscopy for the management of postoperative intra-abdominal abscess. Endoscopy, 24 : 218-221, 1992

福田直人、杉山 貢 : In vitro ガラクトサミン肝障害に対する EGF の効果。Cytoprotection&biology、11 : 79-82, 1993

福田直人、徳永 誠、杉山 貢 : 非外傷性小腸穿孔例の臨床的検討。横浜医学、44(5) : 481-485, 1993

福田直人、浜畑幸弘、青山法夫、杉山 貢 : 穿孔性十二指腸潰瘍に対する腹腔鏡下大網被覆術の経験。日本救急医学会関東地方会雑誌、14(2) : 22-23, 1993

Fukuda N, Sugiyama M, Horie H, Takenaka T : Elasticity of mouse hepatocyte membrane is regulated by microfilaments. Yokohama Medical Bulletin, 44 : 185-190, 1993

徳永 誠、土田匡明、福田直人、伊東重義、浜畑幸弘、青山法夫、杉山 貢 : 急性心筋梗塞と誤診された特発性食道破裂の 1 例。救急医学、17(4) : 476-477, 1993

名古屋孝夫、福田直人、青山法夫、浜畑幸弘、杉山 貢 : 初回手術後遅発性横隔膜下膿瘍を合併した胃潰瘍の再手術例。日本救急医学会関東地方会雑誌、14 : 526-527, 1993

深澤信悟、仲野 明、山岡博之、松尾恵五、福田直人、福島忠男、嶋田 紘 : 術後真菌性眼内炎を発症した 2 例の検討。日本外科感染症研究、5 : 55-59, 1993

杉山 貢、山本俊郎、福田直人 : 潰瘍穿孔の病態。CURRENT THERAPY、11(4) : 167-171, 1993

杉山 貢、森脇義弘、伊東重義、浜畑幸弘、福田直人、田中修二 : 術後癒着性腸閉塞症に対するツムラ大建中湯(TJ-100)の効果—アセトアミノフェン吸収試験による定量的効果判定の試み—。Progress in Medicine、13(5) : 173-176, 1993

福田直人、山本裕司、杉山 貢 : 腹腔鏡下止血術が有効であった鈍的肝損傷の 1 例。日本救急医学会関東地方会雑誌、15(1) : 104-105, 1994

福田直人、杉山 貢、山本俊郎 : 消化性潰瘍に対する手術適応と選択術式の変遷。日本臨床外科医学会雑誌、55(6) : 1372-1376, 1994

福田直人、竹内信道、徳永 誠、佐藤芳樹、関 文雄、坂本 哲、山本裕司、杉山 貢：
非外傷性消化管穿孔症例の臨床的検討。日本腹部救急医学会雑誌、14(6)：1061-1065, 1994

福田直人、山本裕司、杉山 貢：CFによる大腸穿孔症例の検討。
日本救急医学会関東地方会雑誌、15(2)：310-311, 1994

州崎文男、並木庸浩、福田直人、佐藤芳樹、竹内信道、徳永 誠、関 文雄、山本裕司、
杉山 貢、下山 潔、原 正道、鈴木亮一、関原久彦：胃平滑筋肉腫に腺腫と早期癌を併存
した1例。横浜医学、45：273-277, 1994

杉山 貢、福田直人：十二指腸潰瘍に対する幽門形成術。手術、48(11)：1797-1802, 1994

竹川 清、福田直人、山本裕司、杉山 貢：骨盤外傷に肛門裂傷を合併した1例。
日本救急医学会関東地方会雑誌、15(2)：268-269, 1994

村瀬真理子、福田直人、山本裕司、杉山 貢：ごぼうによる回腸穿孔の1例。
日本救急医学会関東地方会雑誌、15(2)：308-309, 1994

福田直人、大久保賢治、依田浩平、伊東重義、坂本 哲、小澤幸弘、杉山 貢：メッケル憩
室頸部捻転壊死による穿孔性腹膜炎の1例。日本消化器外科学会雑誌、28(3)：729-733, 1995

福田直人、大久保賢治、依田浩平、伊東重義、坂本 哲、小澤幸弘、杉山 貢：
出血性および穿孔性消化性潰瘍の病態と治療方針。横浜医学、46(2)：197-201, 1995

福田直人、竹内信道、徳永 誠、佐藤芳樹、関 文雄、坂本 哲、山本裕司、杉山 貢：
急性腹症、腹部外傷に対する緊急腹腔鏡の適応と意義。日本腹部救急医学会雑誌、
15(3)：529-534, 1995

福田直人、伊東重義、小澤幸弘、杉山 貢：穿孔性十二指腸潰瘍に対する腹腔鏡下大網被覆
術の適応と限界。日本腹部救急医学会雑誌、15(5)：913-917, 1995

竹内信道、山本裕司、佐藤芳樹、福田直人、徳永 誠、杉山 貢：外傷性肝損傷50例の臨
床的検討。日本臨床外科医学会雑誌、56(12)：2557-2561, 1995

竹内信道、関 文雄、佐藤芳樹、福田直人、徳永 誠、杉山 貢：鈍的会陰損傷の4例。
日本腹部救急医学会雑誌、15(7)：1203-1205, 1995

- 杉山 貢、福田直人：救急医療における穿孔性潰瘍の経験。消化器内視鏡、7(12)：1768-1772, 1995
- 福田直人、春日井 尚、大滝修司、宮島伸宜、丸野 要、加納宣康、山川達郎：胃 hepatoid adenocarcinoma の1例。日本臨床外科医学会雑誌、57(3)：584-587, 1996
- 福田直人、宮島伸宜、加納宣康、山川達郎：穿孔性十二指腸潰瘍に対する腹腔鏡下大網被覆術—開腹術との比較検討—。日本臨床外科医学会雑誌、57(4)：798-803, 1996
- 福田直人、山川達郎、伊東重義、小澤幸弘、杉山 貢：大腸内視鏡による大腸穿孔の病態と治療方針。手術、50(7)：1181-1184, 1996
- 福田直人、伊東重義、小澤幸弘、杉山 貢：CFによる大腸穿孔12例の臨床的検討。日本腹部救急医学会雑誌、16(5)：941-944, 1996
- 山本裕司、杉山 貢、坂本 哲、関 文雄、佐藤芳樹、福田直人、徳永 誠：多発外傷における各重傷度評価法を用いた初療時予後判定の検討。横浜医学、47：65-69, 1996
- 加納宣康、福田直人、山川達郎：腹腔鏡（特集：救急疾患画像診断アトラス）。日本臨床、45：1213-1218, 1996
- 山川達郎、福田直人：急性胆嚢炎（肝・胆・膵・脾の疾患—17）。消化器外科、19(6)：1002-1004, 1996
- 山川達郎、福田直人：外科的治療と予後（特集：乳頭部腫瘍を考える）。消化器内視鏡、8(6)：795-797, 1996
- 春日井 尚、山川達郎、宇仁 淳、直江哲郎、石山純司、福田直人、加納宣康：腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術後再発例の検討—再発のない術式をめざして—。帝京医学雑誌、19(4)：381-388, 1996
- 山川達郎、福田直人：肝内結石症に対する非外科的治療法—殊に内視鏡的治療法の意義—。日本外科学会雑誌。97(8)：631-636, 1996
- 山川達郎、福田直人：腹腔鏡下胆嚢摘出術の現況。クリニカ、23(6)：444-449, 1996
- 門口幸彦、福田直人、杉山 貢：迷走神経切離術の消化管ホルモン動態と消化機能への影響—アセトアミノフェン法による胃排出能の評価—。日本臨床外科医学会雑誌、

57(10) : 2365-2369, 1996

大久保賢治、杉山 貢、小澤幸弘、坂本 哲、伊東重義、福田直人、依田浩平：
腹部鈍的外傷例の多発外傷合併による臨床的特徴。日本腹部救急医学会雑誌、
16(6) : 1069-1075, 1996

福田直人、石山純司、春日井 尚、宮島伸宜、丸野 要、山川達郎：穿孔性十二指腸潰瘍に
対する腹腔鏡下手術—単純閉鎖+大網被覆術と大網充填被覆法の比較—。臨床外科、52(3) :
383-386, 1997

福田直人、吉良邦彦、土用下和之、春日井 尚、宮島伸宜、丸野 要、加納宣康、山川達郎：
腹部鈍的外傷による胃破裂の2例。救急医学、21(5) : 612-614, 1997

福田直人：実験肝不全における Epidermal Growth Factor の細胞保護作用。帝京医学雑誌、
20(5) : 429-436, 1997

福田直人、山川達郎：胃および十二指腸潰瘍穿孔例における腹腔鏡下手術の適応と限界。
日本腹部救急医学会雑誌、17(7) : 949-955, 1997

山川達郎、福田直人：総胆管結石、肝内結石の内視鏡治療。外科、59(3) : 274-279, 1997
春日井 尚、山川達郎、酒井 滋、福田直人、石山純司：腹腔鏡下総胆管切開結石摘出術に
おける総胆管閉鎖法 (suture clip 法)。手術、51(7) : 979-985, 1997

丸野 要、福田直人、山川達郎：腹腔鏡補助下幽門側胃切除術の経験。
Gastroenterological Endoscopy、39(12) : 2440-2445, 1997

福田直人、館花明彦、山川達郎、酒井 滋、春日井 尚、宇仁 淳：巨大な胃悪性リンパ腫
による潰瘍穿孔の1例。日本臨床外科学会雑誌、59(3) : 698-701, 1998

Pineros G, Yamakawa T, Kasugai H, Fukuda N, Ishiyama J, Sakai S, Maruno K, Miyajima
N, Sunpaweravong S : Common bile duct stones : management strategies in the laparoscopic
era. J Hepatobiliary Pancreat Surg, 5(1) : 97-103, 1998

福田直人、館花明彦、吉良邦彦、秋山竹松：急性腹症で発症し小腸壊死をきたした結節性多
発動脈炎の1例。日本臨床外科学会雑誌、59(9) : 2300-2304, 1998

福田直人、石山純司、春日井 尚、山川達郎：術後良性胆管狭窄に対する経皮的胆管拡張術
施行例の検討—内外瘻化ステントチューブの効果—。日本臨床外科学会雑誌、

59(10) : 2489-2494, 1998

福田直人、山川達郎：急性腹症に対する腹腔鏡の有用性。外科治療、79(5) : 597-603, 1998

館花明彦、福田直人、東原裕治、飯泉成司、浦川陽一、山川達郎：保存的治療をしえたポリペクとミー後の直腸穿孔の1例。臨床外科、53(12) : 1513-1515, 1998

館花明彦、福田直人、山川達郎、東原裕治、浦川陽一、飯泉成司、吉元 真、水口國雄：結腸狭窄、尿管狭窄をきたした小腸クローン病の1例。Gastroenterological Endoscopy、40(12) : 2149-2153, 1998

福田直人、吉良邦彦、館花明彦、春日井 尚、山川達郎：腹腔鏡が有効であった脾嚢胞自然破裂の1例。外科、61(1) : 109-111, 1999

福田直人、山川達郎：腹部救急疾患に対する腹腔鏡診断。救急医学、23(1) : 15-20, 1999

福田直人、吉良邦彦、館花明彦、秋山竹松：食道癌術後の再建胃管に発生した早期癌の1例。臨床外科、54(8) : 1091-1094, 1999

館花明彦、福田直人、山川達郎、鶴谷 孝、岡野 晃、脇坂季繁、雨宮公一、吉良邦彦、秋山竹松：高度狭窄をおこした Barrett 食道の1例。Gastroenterological Endoscopy、41(5) : 1095-1100, 1999

館花明彦、福田直人、山川達郎、吉良邦彦、秋山竹松：副腎骨髄脂肪腫の1例。日本臨床外科学会雑誌、60(5) : 1380-1383, 1999

福田直人、吉良邦彦、館花明彦、山川達郎：卵巣嚢腫茎捻転を合併した完全内臓逆位症の1例。帝京医学雑誌、23(1) : 103-107, 2000

福田直人、館花明彦、永山淳造、秋山竹松、山川達郎：膿瘍形成を伴った巨大空腸平滑筋肉腫の1例。日本臨床外科学会雑誌、61(7) : 1803-1806, 2000

館花明彦、福田直人、永山淳造、吉良邦彦、酒井 滋、山川達郎：Ogilvie 症候群の2例—内視鏡治療の成功例と非成功例—。日本臨床外科学会雑誌、61(4) : 1000-1004, 2000

館花明彦、福田直人、永山淳造、吉良邦彦、鶴谷 孝、山川達郎：肝硬変に合併した脾梗塞の1例。帝京医学雑誌、23(4) : 455-460, 2000

館花明彦、福田直人、永山淳造、酒井 滋、山川達郎：肝動脈結紮で軽快した Kasabach-Merritt 症候群を呈した成人肝血管腫の 1 例。日本臨床外科学会雑誌、61(10)：2705-2709, 2000

館花明彦、福田直人、酒井 滋、山川達郎、永山淳造、吉良邦彦、鶴谷 孝、脇坂季繁、秋山竹松：術中内視鏡検査が有効であった単純性小腸潰瘍の 1 例。Gastroenterological Endoscopy、42(12)：2279-2283, 2000

館花明彦、福田直人、永山淳造、山川達郎、秋山竹松、酒井 滋：非特異性直腸潰瘍の 1 例—いわゆる“分類困難な直腸潰瘍”—。日本臨床外科学会雑誌、61(12)：3295-3298, 2000

山川達郎、福田直人：胆嚢・総胆管結石に対する外科手術の歴史的変遷—一切開排膿／結石摘出／ドレナージの時代から内視鏡下外科手術の時代へ—。日本外科学会雑誌、101(12)：877-881, 2000

福田直人、館花明彦、酒井 滋、山川達郎：術前診断困難な急性腹症に対する腹腔鏡の有効性。日本腹部救急医学会雑誌、21(3)：549-553, 2001

福田直人、館花明彦、永山淳造、高橋喜久美、宗像淑代、鶴谷 孝：Billroth II 法胃切除後の十二指腸断端に発生したブルネル腺腫の 1 例。消化器内視鏡、13(7)：1103-1106, 2001

館花明彦、福田直人、山川達郎、宇井義典、酒井 滋、福間英祐：術後 13 年目に左卵巣転移をきたした乳腺浸潤性乳管癌の 1 例。日本臨床外科学会雑誌、62(1)：63-66, 2001

館花明彦、福田直人、永山淳造、山川達郎、酒井 滋：膵癌術後の空腸狭窄にステント治療が有効であった 1 例。Gastroenterological Endoscopy、43(10)：2031-2035, 2001

河原弘規、梶 英夫、海老沢 健、丹羽道夫、福本守男、関 純、呉 英樹、野中博子、伊原文恵、曾根敏明、館花明彦、福田直人、脇坂季繁、秋山竹松：食道顆粒細胞腫の 1 例。埼玉県医学会雑誌、36(3)：260-261, 2001

館花明彦、福田直人、宇井義典、山川達郎、酒井 滋、福間英祐：乳癌治療中にタモキシフェンによる高トリグリセリド血症をきたした 1 例。臨床外科、56(13)：1703-1706, 2001

福田直人、館花明彦、土用下和之、丸野 要：経鼻胃管による胃切除後残胃穿孔の 1 例。日本腹部救急医学会雑誌、22(1)：103-106, 2002

福田直人、土用下和之、丸野 要、酒井 滋：2ヶ所に腸重積を合併した多発小腸平滑筋肉

腫の 1 例。日本臨床外科学会雑誌、63(3) : 627-631, 2002

館花明彦、福田直人、永山淳造、酒井 滋、宮島伸宜、山川達郎 : 虫垂切除 49 年後に発症した粘液嚢胞腺腫の 1 例。Gastroenterological Endoscopy、44(4) : 788-791, 2002

河原弘規、曾根敏明、根本明美、高橋真弓、安斉真弓、嶋津明子、大野誠治、福田直人、原文男、小林寅喆、橋本直明、永井孝三 : 肝硬変症における低亜鉛血症と腸内細菌叢 (Eubacterium) との関連。川崎市医師会医学雑誌、19 : 21-24, 2002

丸野 要、土用下和之、福田直人 : 101 歳の胃癌手術症例。日本臨床外科学会雑誌、64(9) : 2144-2148, 2003

Wang D, Yamakawa T, Fukuda N, Maruno K, Ushigome S, Ishiyama J, Murata N : Xanthogranulomatous cholecystitis : report of a case and literature review on clinical differentiating factors from gallbladder carcinoma. Digestive Endoscopy, 16(2) : 143-147, 2004

福田直人、土用下和之、丸野 要、山川達郎 : 腸重積をきたした S 状結腸脂肪肉腫の 1 例。日本臨床外科学会雑誌、65(3) : 429-432, 2004

福田直人、和田浄史、高橋茂雄、田村義民 : 術前診断が可能で低侵襲手術 (MIS) を行った玉こんにゃくによる食餌性イレウスの 1 例。日本腹部救急医学会雑誌、24(5) : 939-943, 2004

福田直人、和田浄史、高橋茂雄、高橋克之、三浦康誠 : 大腸癌開腹手術創に対する無消毒閉鎖療法の検討。日本臨床外科学会雑誌、66(8) : 1817-1820, 2005

福田直人、和田浄史、高橋茂雄、高橋克之、三浦康誠 : 腹腔鏡下大網被覆術後 2 期的に根治術を施行した胃癌穿孔の 1 例。日本臨床外科学会雑誌、66(10) : 2431-2435, 2005

福田直人、和田浄史、高橋茂雄、高橋克之、仁木径雄 : 宿便性大腸穿孔の 1 例—エンドトキシン吸着療法の効果—。日本腹部救急医学会雑誌、246(6) : 779-783, 2006

福田直人、和田浄史、高橋茂雄、仁木径雄、三浦康誠 : 上部消化管穿孔に対する腹腔鏡手術例の検討。日本腹部救急医学会雑誌、26(7) : 855-858, 2006

福田直人、杉山保幸、和田浄史、仁木径雄 : 5'-DFUR が奏功した AFP 産生胃癌の 1 例。消化器科、46(2) : 248-252, 2008

丸野 要、福田直人、杉山保幸、水口國雄：早期胃癌に発生した断端神経腫の 1 例。日本臨床外科学会雑誌、69(2)：347-350, 2008

福田直人、渋谷健太郎、丸野 要、杉山保幸、水口國雄、村田宣夫：術後 38 年目に皮膚・リンパ節転移をきたした乳癌晩期再発の 1 例。日本臨床外科学会雑誌、69(7)：1620-1624, 2008

福田直人、杉山保幸、和田浄史、仁木径雄、野本朋宏：術前 S-1/Paclitaxel 化学療法が奏功し根治術可能となった進行胃癌の 1 例。癌と化学療法、35(8)：1379-1382, 2008

丸野 要、福田直人、杉山保幸、水口國雄：乳腺に発生した腺房細胞癌の 1 例。日本臨床外科学会雑誌、70(1)：50-56, 2009

國崎主税、島田英雄、永野靖彦、福田直人、牧角良二：周術期管理における血液凝固第 X III 因子製剤の有用性。医学と薬学、61(2)：171-180, 2009

福田直人、杉山保幸、藤野昇三、緑川 泰、虫明寛行、渋谷健太郎：80 歳以上高齢者急性腹症手術例の予後指標因子の検討。日本腹部救急医学会雑誌、29(4)：571-574, 2009

福田直人、杉山保幸：80 歳以上高齢者急性腹症の臨床的検討。日本腹部救急医学会雑誌、29(6)：837-841, 2009

Fukuda N, Sugiyama Y, Midorikawa A, Mushiake H : Prognostic significance of the metastatic lymph node ratio in gastric cancer patients. World J Surg, 33 : 2378-2382, 2009

Watanabe M, Midorikawa Y, Yamano T, Mushiake H, Fukuda N, Kirita T, Mizuguchi K, Sugiyama Y : Carcinoma of the papilla vater following treatment of pancreaticobiliary maljunction. World J Gastroenterol, 15(48) : 6126-6128, 2009

福田直人、杉山保幸、渋谷健太郎：経皮内視鏡的胃瘻造設術後 1 年 9 ヶ月目に判明した胃結腸皮膚瘻の 1 例。日本臨床外科学会雑誌、71(2)：383-387, 2010

杉山保幸、福田直人、虫明寛行：外科当直医必携：不眠。消化器外科、33(5)：945-946, 2010

杉山保幸、福田直人、虫明寛行：広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査—その数値をどう読むか—[第 7 版] (4) X III. 腫瘍マーカー 組織ポリペプチド抗原(TPA)。日本臨床、68(7)：750-752, 2010

Fukuda N, Sugiyama Y, Wada J : Prognostic factors of T4 gastric cancer patients undergoing potentially curative resection. World J Gastroenterol, 17(9) : 1180-1184, 2011

福田直人、和田浄史、仁木径雄、杉山保幸：肝内胆管癌手術後に発生した内ヘルニアの 1 例。日本腹部救急医学会雑誌、32(3) : 699-702, 2012

Fukuda N, Wada J, Niki M, Sugiyama Y, Mushiake H : Factors predicting mortality in emergency abdominal surgery in the elderly. World J Emerg Surg, 7 : 12, 2012

Bou H, Tokunaga N, Suzuki H, Murata N, Sugiyama Y, Fukuda N, Ishimaru M, Suzuki H : Phase II study of irinotecan plus S-1 in treatment of advanced gastric cancer. J Cancer Therapy 4 : 578-583, 2013

福田直人、仁木径雄、佐野允哉、小倉礼那、和田浄史：Upside down stomach を呈した巨大食道裂孔ヘルニアの 1 例。日本腹部救急医学会雑誌、33(8) : 1335-1339, 2013